

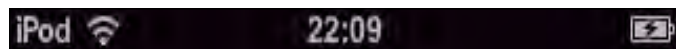
## iPod touchのホーム画面

iPod touchの特徴は、何といても3.5インチのディスプレイ画面だ。タッチパネルインターフェースを採用しており、さまざまな操作が指先だけで行える。ボタンらしいボタンは「ホームボタン」の1つだけで、このボタンを押せばいつでもホーム画面に戻ることができる。

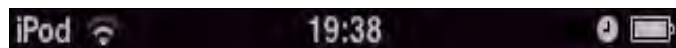
ホーム画面では、各種アプリケーションの起動が可能だ。任意のアイコンをタップするだけでアプリケーションが起動する。アプリケーションの操作を切り替えるときは、「ホームボタン」を押してホーム画面に戻り、別のアプリケーションのアイコンをタップすればよい。



また、画面上部のステータスバーには無線LANの状態、時刻、アラームの有無、バッテリーの残量などが表示されている。



左の「iPod」の横にあるのが無線LANの電波状態。右端のアイコンはバッテリーの状態を示す。この場合は無線LANの電波状態は強、バッテリーは充電終了の状態



右に時計マークがあるのはアラーム設定中を意味している。無線LANの状態は中、バッテリーは充電していないがフルに近い状態となっている

## iPod touchのタッチパネルインターフェース

iPod touchでは、指先でポンと叩く動作を「タップ」、2回叩くことを「ダブルタップ」と呼ぶ。マウスのクリック/ダブルクリックのような感覚だ。「タップ」は選択や決定、「ダブルタップ」は画像とWebページの縮小/拡大に使われる。

2本の指で縮小/拡大を行うこともできる。これを「ピンチイン/ピンチアウト」と呼んでおり、画像などを指で拡げたりつまんだりするようにして、縮小/拡大率を調節することができる。

Webの閲覧や画像の表示でスクロールするときに使うのが「フリック」と「ドラッグ」だ。画面を指で軽く払う操作は「フリック」で、動いている指を画面上で止めていけば「ドラッグ」になる。「フリック」は長いリスト画面などでスクロールを行うときに使う操作で、マウスのセンターホイールを使ったスクロールと似ている。素早く動かせば、その分だけ素早くスクロールするようになっている。

これらの操作名称を挙げると、何となく難しい雰囲気があるが、実際にiPod touchを使ってみると自然に指が動いてしまう。それがiPod touchの魅力といえるだろう。

### ピンチイン/ピンチアウト

Webや画像の縮小/拡大に使う。ダブルタップでも代用できる



### ドラッグ

Webや画像の表示部分を変更するのに使う。スライドスイッチの操作にも使われる



### フリック

リストのスクロールや画像の切り替えなどに使う。ドラッグよりも素早い操作に使われる

